

# 東北地方 1か月予報

(3月1日から3月29日までの天候見通し)

平成20年2月29日  
仙台管区気象台発表

## <特に注意を要する事項>

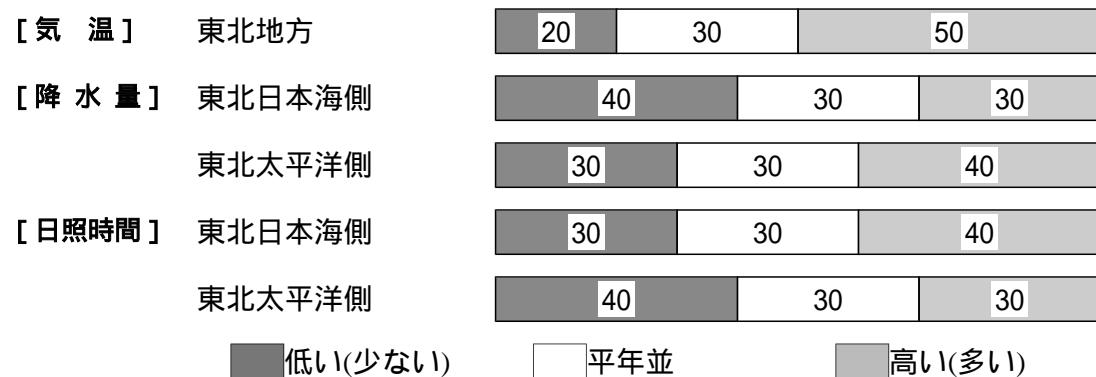
2週目以降は気温が高くなる見込みです。雨の日や気温の高い日は、融雪による河川の増水や土砂災害のおそれがありますので注意して下さい。

## <予想される向こう1か月の天候>

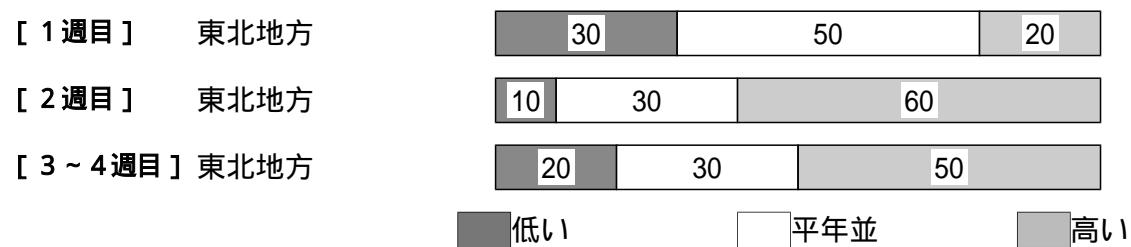
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。  
東北日本海側は平年と同様に曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側は平年に比べて晴れの日が少ない見込みです。

向こう1か月の平均気温は、高い確率が50%です。  
週別の気温は、1週目は平年並の確率が50%、2週目は高い確率が60%、3~4週目は高い確率が50%です。

## <向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



## <気温経過の各階級の確率(%)>



## <予報の対象期間>

1か月 : 3月 1日(土) ~ 3月29日(土)  
1週目 : 3月 1日(土) ~ 3月 7日(金)  
2週目 : 3月 8日(土) ~ 3月14日(金)  
3~4週目 : 3月15日(土) ~ 3月28日(金)

## <次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日 14時30分 次回は3月7日  
3か月予報:3月25日(火) 14時

## <参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3～4週目の平均気温)

	気温( )	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温( )		
				1週目	2週目	3～4週目
青森	1.8	66.0	131.1	0.4	1.2	2.8
深浦	2.5	73.7	109.6	1.1	1.8	3.3
むつ	1.3	72.4	142.4	-0.1	0.6	2.1
八戸	2.1	48.0	162.1	0.7	1.4	3.0
秋田	3.1	87.0	125.4	1.6	2.4	4.0
盛岡	1.7	73.7	156.7	0.1	0.9	2.6
大船渡	3.3	85.6	158.8	2.1	2.8	4.1
宮古	2.8	83.2	171.1	1.5	2.2	3.7
仙台	4.4	67.4	171.3	3.1	3.8	5.1
石巻	3.6	64.7	177.5	2.3	3.0	4.4
山形	2.9	62.6	137.5	1.4	2.2	3.8
新庄	1.8	104.2	108.3	0.5	1.2	2.6
酒田	4.1	95.6	116.6	2.8	3.5	4.9
福島	4.7	70.2	167.6	3.3	4.1	5.6
若松	2.8	60.3	131.3	1.2	2.1	3.8
白河	3.4	65.9	171.2	2.0	2.8	4.3
小名浜	6.1	97.7	177.1	4.9	5.6	6.7

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971～2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差( )	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.4～+0.4	84～112	94～107
東北日本海側	-0.4～+0.4	88～108	93～107
東北太平洋側	-0.4～+0.5	80～118	96～107

(3) この予報期間の1週目、2週目、3～4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3～4週目
東北地方	-0.7～+0.6	-0.6～+0.7	-0.3～+0.5
東北日本海側	-0.6～+0.6	-0.6～+0.6	-0.3～+0.6
東北太平洋側	-0.7～+0.6	-0.7～+0.6	-0.3～+0.6

## <参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

# 東北地方 1か月予報解説資料

平成20年2月29日 仙台管区気象台

## 1. 出現の可能性が最も大きい天候

### 向こう1か月(3月1日~3月29日):

期間のはじめは冬型の気圧配置となる日が多いですが、その後、天気は数日の周期で変わるものでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側は平年に比べて晴れの日が少ない見込みです。

2週目以降は気温が高い見込みです。雨の日や気温の高い日は、融雪による河川の増水や土砂災害のおそれがありますので注意してください。

平均気温は高い確率が50%です。

### 1週目(3月1日~3月7日):

気圧の谷や寒気の影響で、東北日本海側では雪の日が多いでしょう。東北太平洋側では、沿岸部を中心におおむね晴れますですが、期間のはじめは気圧の谷の影響で、雪または雨の降るところがある見込みです。

平均気温は平年並の確率が50%です。

### 2週目(3月8日~3月14日):

天気は数日の周期で変わるものでしょう。東北日本海側は平年に比べ晴れの日が多く、東北太平洋側は平年に比べ晴れの日が少ない見込みです。

平均気温は高い確率が60%です。

### 3~4週目(3月15日~3月28日):

天気は数日の周期で変わるものでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雨の日が多く、東北太平洋側は平年に比べて晴れの日が少ない見込みです。

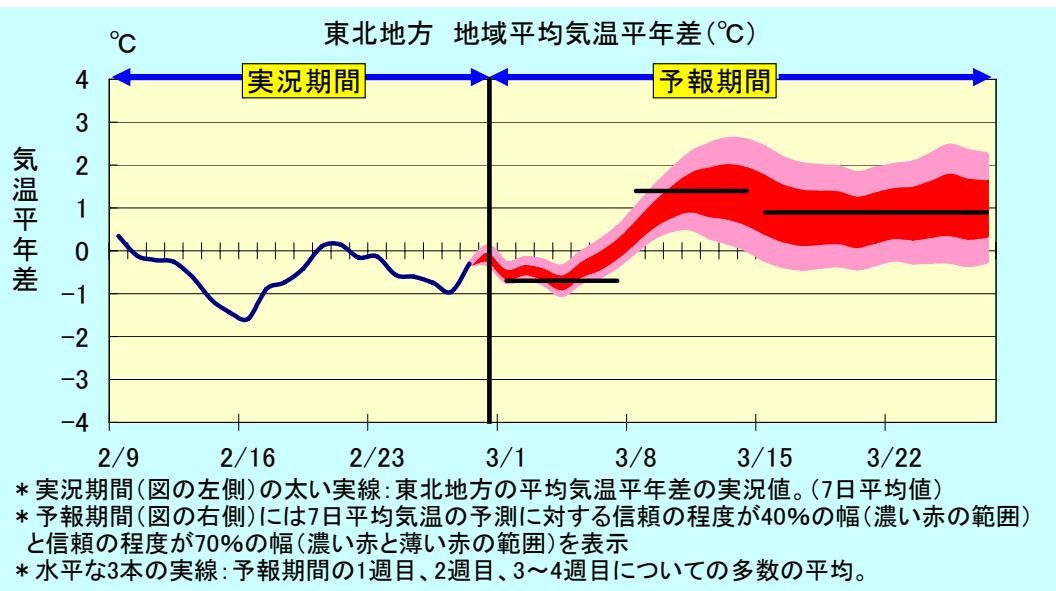
平均気温は高い確率が50%です。

## 平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	11.9日	2.5日	2.8日	6.6日
東北太平洋側	18.1日	4.7日	4.5日	8.9日

## 2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別のアンサンブル平均気温は、1週目は平年をやや下回り、2週目、3~4週目は平年を上回る予想となっている。

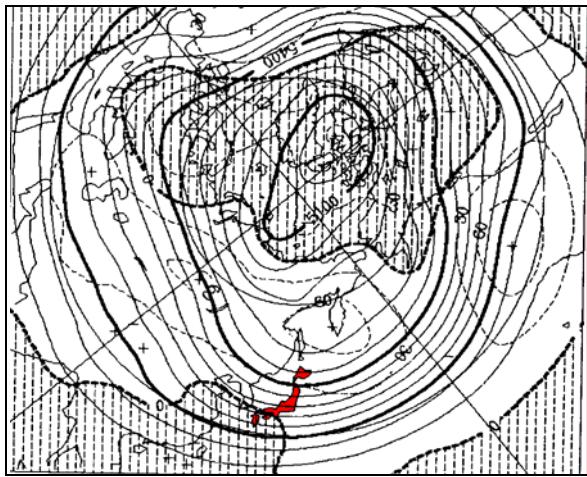


### 3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500 hPa 予想天気図)

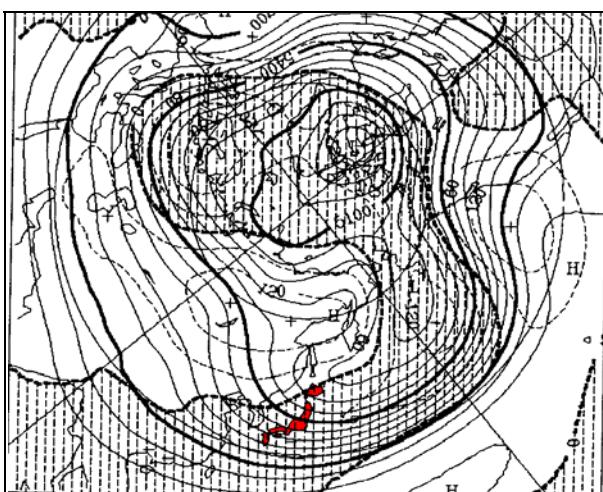
**1か月平均**: カスピ海付近から日付変更線付近にかけて、強い正偏差。北日本は正偏差となり高温傾向。

**1週目**: バイカル湖からカムチャツカ半島にかけて気圧の尾根がのび、強い正偏差。偏西風の蛇行は大きく、日本付近は負偏差となり、寒気の影響を受けることもある見込み。

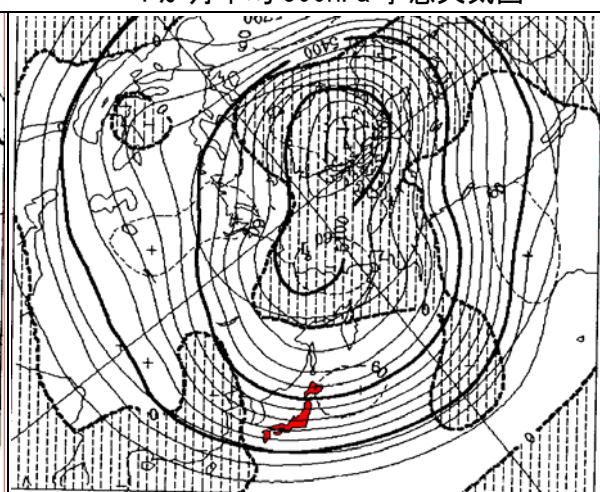
**2週目**: 日本付近は1週目の負偏差が解消し、広く正偏差。北海道の東は強い正偏差で、東北地方は高温傾向。



1か月平均 500hPa 予想天気図



1週目平均 500 hPa 予想天気図



2週目平均 500 hPa 予想天気図

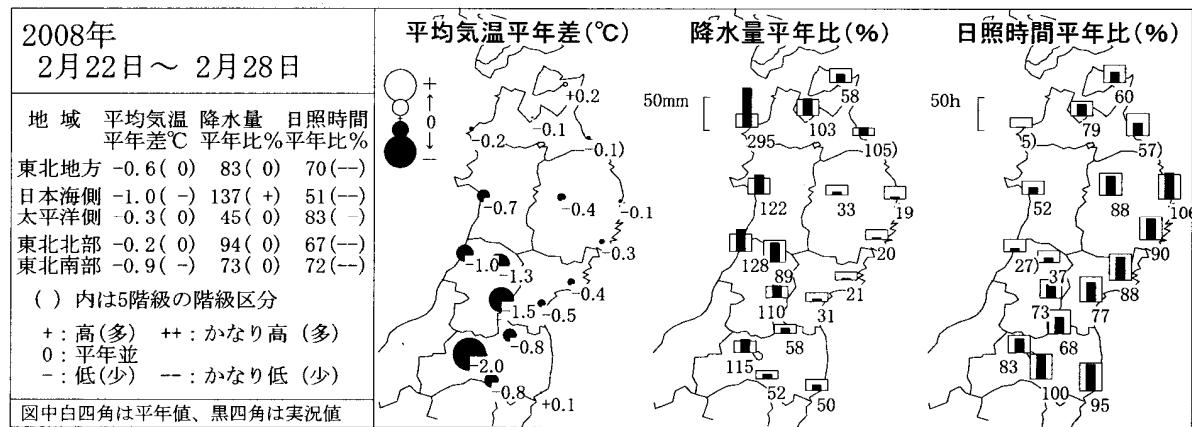
実線は、等高度線（間隔 60m）、点線は、平年差（間隔 60m）

陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

### 4. 最近1週間（2月22日～2月28日）の天候の経過

この期間、23日、26日に寒冷前線が通過し、通過後は冬型の気圧配置となった。東北日本海側では曇りや雪の日が続き、東北太平洋側では天気は数日の周期で変わり、雪の降る日もあった。23日～24日は、強い冬型の気圧配置となったため、各地で強風となり、看板の落下や交通障害などの被害が発生した。

平均気温は東北日本海側で低く、東北太平洋側で平年並。降水量は東北日本海側で多く、東北太平洋側で平年並。日照時間は東北日本海側でかなり少なく、東北太平洋側で少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）